

今回はここに注目

志望理由書等の作成

となりの学校の進路指導

file.5 : 酒田光陵高校(山形・県立)

生成AIを活用して考えを整理・明確化 教員と共に内容を深め、表現を磨く

生徒に広がる生成AI
学校全体での適切な活用へ

普通科・工業科・商業科・情報科を設置する酒田光陵高校。生徒の進路は大学進学から就職まで幅広い。進路活動では志望理由書や自己PR文が必要になる生徒が多く、その作成には一人ひとりに担当教員が付いて伴走している。

「生徒が志望先で何をしたいかなどが曖昧な状態から指導を始めるケースも少なくありません。生徒が書いた文章を読解し、何が言いたいのかを引き出しながら、考えを整理し、表現を磨いていきます」情報科主任／進路指導部・湯澤一先生

この志望理由書等の効率的な質の向上を目指し、2024年度から学校を挙げて進路活動に生成AIを活用している。

当時、一部の教員は既に授業や進路指導に生成AIを活用していた。これを学校全体に広げようと、リーディングDXスクール生成AIBayロッタ校の指定を受け、多様な場面での生成AI活用に取り組み始めた。その一つが志望理由書等への活用だった。

まず教員研修会で、志望理由書等において生成AIがどのように活用できるかを紹介。「強制ではなく、各先生の判断で指導に使えるよう環境整備に努めた」と湯澤先生は話す。そのなかで、教員が促さなくても生徒は自主的に生成AIを活用している実態が明らかになった。「適切な使い方を理解したうえで活用が大切」(湯澤先生)と、25年度は3

年次対象に生徒研修会も開催した。

生徒の学びや気づきを促す プロンプトを例示

生徒研修会では、ハルシネーションなどのリスクや、志望理由書等に使う際の「やめていいこと」「やってはいけないこと」「やらないといけないこと」の解説、そして教員が作成したプロンプトを例示しながら具体的な使い方を紹介した。

プロンプト例は「志望理由の深掘り支援」「志望理由書の書き出し支援」「志望動機の深化」「志望理由書の添削」など、場面別に作成している。例えば「添削」用は、「文法や語彙の正確さ、論理の流れ、説得力の強化に重点をおいて修正案の



生徒が作成した志望理由書に助言を行う様子。

もっと
教えて!

進路指導のあれこれ

Q 進路指導の特徴は？



A 本校には4つの学科があります。生徒が学科の枠を超えて多様な専門科目を学ぶことができる総合選択制であることもあり、学科間の風通しの良い学校です。進路指導においても、進路指導部の計画の下、担任が軸となり、生徒の希望に合わせて他学科の先生に協力を得るなど、柔軟に取り組んでいます。(進路指導主事・星光里先生)

Q ほかの進路活動での生徒の生成AIの活用は？



A 面接対策や履歴書作成、進路先の調査などにも活用しています。面接対策としては、「回答の作成」のほか、「質問の生成」という使い方も多く見られます。教員が練習相手になる時間は限られますが、生成AIを相手に繰り返し壁打ちすることで、より確実な対策になると考えています。(湯澤先生)

●生徒の進路活動での生成AI利用状況 (2025年度3年次/上位4項目)

志望理由書や自己PRなどの作成	57.8%
面接対策(想定される質問の生成)	42.2%
面接対策(質問の答えを作成)	33.9%
履歴書の作成	31.8%

酒田光陵高校進路生成AI活用

進路活動への生成AI活用

生成AIを進路活動に活用する注意点

生成AIの作文の欠点...

- ◆ 浅い志望動機になりやすい
文章を作るのは得意だけど、生成AIに経路がない
- ◆ 文章の個性が薄くなる
生成AIが作ったっぽい文章になる

やっていいこと!

- 1) 自分の考えをまとめてもらう
- 2) 自分の考えを文庫にするヒントをもらう
- 3) 自分の考え・文章をよくするためのヒントをもらう
- 4) 自分の文章の誤字・脱字のチェックをもらう

生成AIが作ったことが ばれる! 中心は自分!!

プロンプト集

右のものをクリックして、プロンプトを表示してください。プロンプトをコピーして使ってください。

進学志望理由深掘り支援

あなたは札幌高校の「志望動機コード」です。以下のルールで私の考えを深掘りし、最終的に志望動機の手書きを完成させてください。

【基本方針のルール】

1. 一度に1〜2問ずつ質問してください。
2. 私の回答は質問に対して、その回答が私の志望動機をより深く理解するために役立ちます。
3. 途中で質問が完了したら私の回答を待たず、追加の質問を投げかけてください。
4. 私の「目的」とは、これまでの内容を整理し、志望動機の手書きを完成させることです。

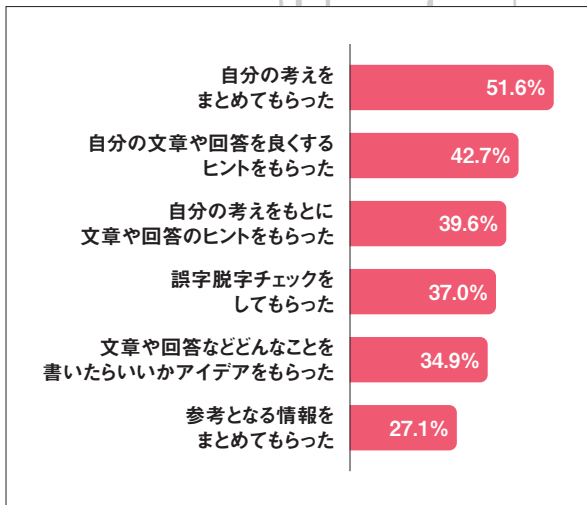
【質問してほしいテーマ】

- A. 志望動機：どの理由が最も重要ですか？
- B. 具体的な経験や出来事：どのような経験や出来事があり、それがあなたの志望動機にどのように影響を与えましたか？
- C. 将来の目標や夢：志望する分野や職業について、どのような目標や夢がありますか？
- D. 自己の強みや得意分野：あなたの強みや得意分野は何か、それが志望する分野や職業にどのように活かせると思いますか？
- E. 学校生活や課外活動：学校生活や課外活動を通じて、どのような学びや成長がありましたか？
- F. その他：あなたが志望する分野や職業に関連する任何其他の質問やテーマはありますか？

3年次対象に実施した「進路活動における生成AIの活用」研修会の内容を基に、校内向けWebサイトを作成。使用した資料のほか、志望理由書等作成に使えるプロンプト例が掲載されており、生徒はいつでもコピーして活用できる。
<https://sites.google.com/sakatakoryo.jp/koryoshinroai2025/>



進路活動での生成AIの利用内容 (2025年度3年次生/上位6項目)



提示」と「なぜそのように修正したかの解説」を指示するもので、理由がわからないまま修正するのではなく、1力所ずつ解説を読んで学ぶことができる。それをWebサイトに掲載し、生徒がいつでも参照できるようにしている。

活用の有無やどのように活用するかは、生徒自身が判断する。同校の調査によると、25年度に進路活動(志望理由書等を含む)に生成AIを活用した生徒は85.9%。「自分の考えのまとめ」「自分の考えをもとにした文章や回答のヒント」「自分の文章や回答を良くするヒント」「誤字脱字チェック」などへの活用が目立つ(図)。

教員は内容の指導に集中できるよ!

生成AIを活用しても、担当教員と対

話しながら志望理由書等を仕上げっていくプロセスに変わりはない。しかし、指導のターゲット地点には大きな変化があるという。

「生成AIの助けを借りて、生徒自身で一定レベルの文章が作成でき、その状態から指導が始められるようになりました。ただし粗い状態なので、そこからいかに魂を込めていくかが勝負です。教員は、不自然な日本語の解説や文章の校正に費やす時間が削減される分、内容の指導に集中できます。以前はゼロから始めて10まで引き上げていたところを、6〜7程度の状態から指導を始められるので、10以上にも高められる可能性を感じています(3年次担任・寺崎英之先生)。

同校調査によると、活用した生徒のほとんどは、生成AIが出力した内容が正しいかどうかを確認して使っていた。しか

し、生成AIの表現を安易にそのまま使うケースはあり、教員は注意を払っている。「生成AIが出力する難しい言葉より、簡単な表現でも本人から出る言葉のほうが効果的に伝わります。意味を知らずに言葉を使っている場合は、その芯にあるものを対話で引き出し、生徒自身の言葉に置き換えるようにしています(湯澤先生)。

現在、志望理由書等以外の進路活動にも生成AI活用が広がっています。今後については、「自分のやりたいことを探している生徒の思考を拡張させる使い方もできるのではないかと期待する声も。より効果的な活用を目指し、湯澤先生は「学校全体の情報リテラシーをさらに高めていきたい」と意欲を語った。

進路指導に関わる先生方



生成AIを活用して効率的な進路指導の質向上に取り組んでいる進路指導部と3年次の先生方。それぞれの得意分野を活かして連携し、生徒の進路実現を支援している。

School Data : 2012年設立 / 普通科・工業科・商業科・情報科 / 生徒数772人(男子467人・女子305人) / 進路状況(2025年3月卒業生) 大学60人・短大16人・専門学校等60人・就職117人・その他6人

Q 担任の進路業務での生成AIの活用は?

A 今年度、ほとんどの3年次担任が調査書・推薦文の作成に生成AIを活用しました。これまで担任として「推薦文にどれだけ生徒への思いを載せられるか」を大切にしてきたので、最初は生成AIの活用は若干の後ろめたさも。しかし、担当者から提供されたプロンプトに、対象生徒の良さや活動をたくさん入れることで、その内容と志望先に合わせて的確な文章が出力され、アンケートでは学ぶ点もありました。アンケートでは活用した教員全員が「作成時間が短縮された」と回答。ほか「文章の質が向上」「精神的な負担が軽減」「表現のバリエーションが増えた」などの声も挙がっています。(寺崎先生)

